



第25回 日本文理学園杯中学校柔道優勝大会

要 項

- 1 主催 学校法人 日本文理学園
- 2 共催 日本文理高等学校柔道部後援会
- 3 後援 新潟県柔道連盟・新潟地区柔道連盟
- 4 主管 日本文理高等学校柔道部・日本文理高等学校柔道部保護者会
- 5 期日 平成25年12月23日(月)
- 6 会場 新潟市鳥屋野総合体育館 武道場
新潟市中央区神道寺316-1 TEL 025-241-4600
- 7 日程 23日(月) 8:20~8:50 受付
8:50~9:10 審判・監督会議
9:15 開会式
9:40 試合開始
16:00 閉会式
- 8 競技種目 (1) 中学校男子団体
(2) 中学校女子団体
- 9 試合規定 (1) 国際柔道試合審判規定及び新潟県中学校柔道試合審判申し合わせ事項による。
(2) 優勢勝ちの判定基準
団体試合は「有効」または「指導2」以上とし、代表戦の場合は「僅差」以上とし、必ず優劣を判定する。
(3) 締め技においては、その効果が相当にあると認めるときは、審判員の見込みにより「一本」の判定を下すことができる。
(4) 男子・女子団体ともに全試合3分とする。
- 10 参加資格 (1) チームは中学校1・2年生で編成すること。
(2) 生徒はあらかじめ健康診断を受け、在籍する学校長の承認を必要とする。
- 11 参加制限 (1) 男子団体
ア 各学校1チームとする。但し、チーム編成において人数が満たない場合、他校との合同チームでの参加を認める。
イ チームの人数は監督1名、選手5名、補欠1名の計7名とする。
(2) 女子団体
ア 各学校1チームとする。但し、チーム編成において人数が満たない場合、他校との合同チームでの参加を認める。
イ チームの人数は監督1名、選手3名、補欠1名の計5名とする。
- 12 試合方法 (1) 男子団体
ア 3又は4チームを1組としてリーグ戦を行う。但し、参加校数が36校以上になった場合は、トーナメント戦により実施する。
イ リーグの1位による決勝トーナメント戦を行い、優勝チームを決定する。

ウ 3位決定戦は行わない。

エ リーグ戦は勝率高得点法により順位を決定するが、試合内容が同じ場合は代表戦で決める。

オ トーナメント戦で内容が同じ場合は、代表戦を行う。

(2) 女子団体

ア 3又は4チームを1組としてリーグ戦を行う。但し、参加校数が24校以上になった場合は、トーナメント戦により実施する。

イ リーグの1・2位による決勝トーナメント戦を行い、優勝チームを決定する。

ウ 3位決定戦は行わない。

エ リーグ戦は勝率高得点法により順位を決定するが、試合内容が同じ場合は代表戦で決める。

オ トーナメント戦で内容が同じ場合は、代表戦を行う。

カ 選手は3人の体重の軽い者の順に出場する。

13 抽選会 大会事務局で厳正かつ公正に行う。

- 14 表彰 (1) 優勝校には日本文理学園杯を贈る。(次回大会返還)
(2) 男子優勝校には長沢宗英記念盾を贈る(次回大会返還)
(3) 女子優勝校には上杉和博記念盾を贈る。(次回大会返還)
(4) 3位までに賞状及び賞品を授与する。

15 申込先

〒950-2035 新潟市西区新通1072番地 日本文理高等学校 内 日本文理学園杯中学校柔道優勝大会 事務局 渡辺 富美子 宛 TEL 025-260-1000 FAX 025-260-5112

16 申込締切 ~~平成25年11月15日(金)必着~~ **受付は終了いたしました。**

17 参加料 1チーム 2,000円

18 傷害保険 各学校で事前に加入しておくこと。

- 19 その他 (1) 当日は第26回日本文理学園杯高等学校柔道優勝大会が同時に行われる。
(2) 練習会場は特に設けない。
(3) 大会役員・審判員の服装は全日本柔道連盟指定審判服を着用することが望ましい。
監督の服装は役員・審判員に準ずることが望ましい。
(4) 参加選手は上着背中へゼッケンをつけることとする。
(男子は黒字・女子は赤字)
(5) 参加する生徒は、必ず引率責任者が引率し、参加生徒の全ての行動に責任を負うものとする。
(6) 参加する生徒の競技中の疾病、怪我については応急処置は主催者側で行うが、医師にかかる経費及びその後の責任については一切負わないものとする。
(7) 引率教員の昼食は主催者で用意する。